

アマダコ



漏斗より吐出された卵



1 種 名 アミダコ *Ocythoe tuberculata* Rafinesque, 1814

軟体動物門頭足綱タコ目アマダコ科アマダコ属

2 測定結果 外套長：23.4cm、全長：57.3cm、体重：2,290g、雌雄：メス（抱卵していた）

3 採集日 平成 31 年 1 月 11 日

4 採集場所 大島元町漁港港内

5 採集方法 港内で浮かんでいたところを手鉤で採集

6 採集者 岡村 氏（元町漁業協同組合所属）

分布は太平洋側の暖海域、全世界の熱帯～温帯。外洋の表中層を浮遊する。外套膜の背面は滑らかであるが、腹面には疣状突起が並んでおり、それらを肉稜がつなぎ、網目状構造となっている。メスはオスに比べ大型で、全長 70cm になる。オスや幼ダコはサルパなどに入り、浮遊生活を行う。

伊豆大島周辺では平成 17 年 1 月 11 日に野増漁港内、平成 26 年 6 月 16 日に筆島定置網で採集され、それに次ぐ記録となる。